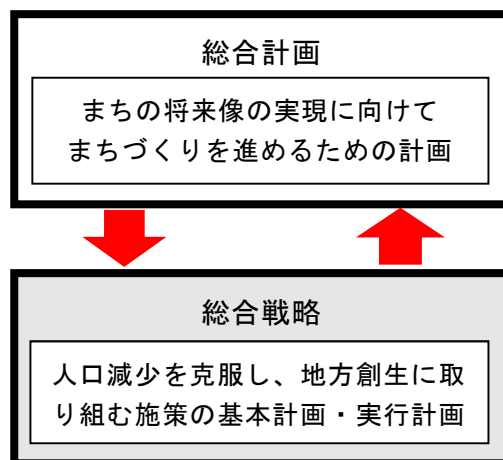


第3期恵庭市総合戦略（案）について

〈総合計画と総合戦略との関係〉



1. 総合戦略について

- 「恵庭市総合戦略」は、国の総合戦略の内容を踏まえ、人口減少や少子高齢化が急速に進む社会情勢において、短・中長期的に取り組む基本的方向や具体的な施策をまとめたもの。
- 「第5期恵庭市総合計画」との関係では、人口減少問題に特化した重点的・横断的な施策の基本計画・実施計画として位置付け。
- 国の交付金などを活用し、施策を実施。
- 平成27年度に「第1期恵庭市総合戦略（平成27年度～令和元年度）」を策定し、令和2年度には、第1期の検証結果をもとに、国の示す新たな視点を盛り込んだ現行の「第2期恵庭市総合戦略（令和2年度～令和6年度）」を策定。

2. 見直しの方針・視点

- 国が新たに策定した「デジタル田園都市国家構想総合戦略（令和5年度～令和9年度）」の内容を受け、「第2期恵庭市総合戦略」を見直し、現行の計画期間を1年前倒しして、「第3期恵庭市総合戦略（令和6年度～令和10年度）」を策定する。
- 「ゼロカーボン」推進のほか、「都市計画マスタープラン」や、「ポストガーデンフェスタ」、「盤尻地区まちづくり検討会」、「えにわっこ応援センター」、「恵庭市デジタル化推進計画」、「近隣自治体における新たな事業展開との連携」など、恵庭市の施策を踏まえて策定。
 - 複数の施策を相互に関連付け、施策間の連携により効果的に課題を解決。
 - 「さっぽろ連携中枢都市圏」など広域的な取組みの深化。
 - デジタルの力の活用。
 - 「恵庭創生懇談会」に、デジタル分野に精通する団体・有識者の参画。

3. 第3期恵庭市総合戦略の構成

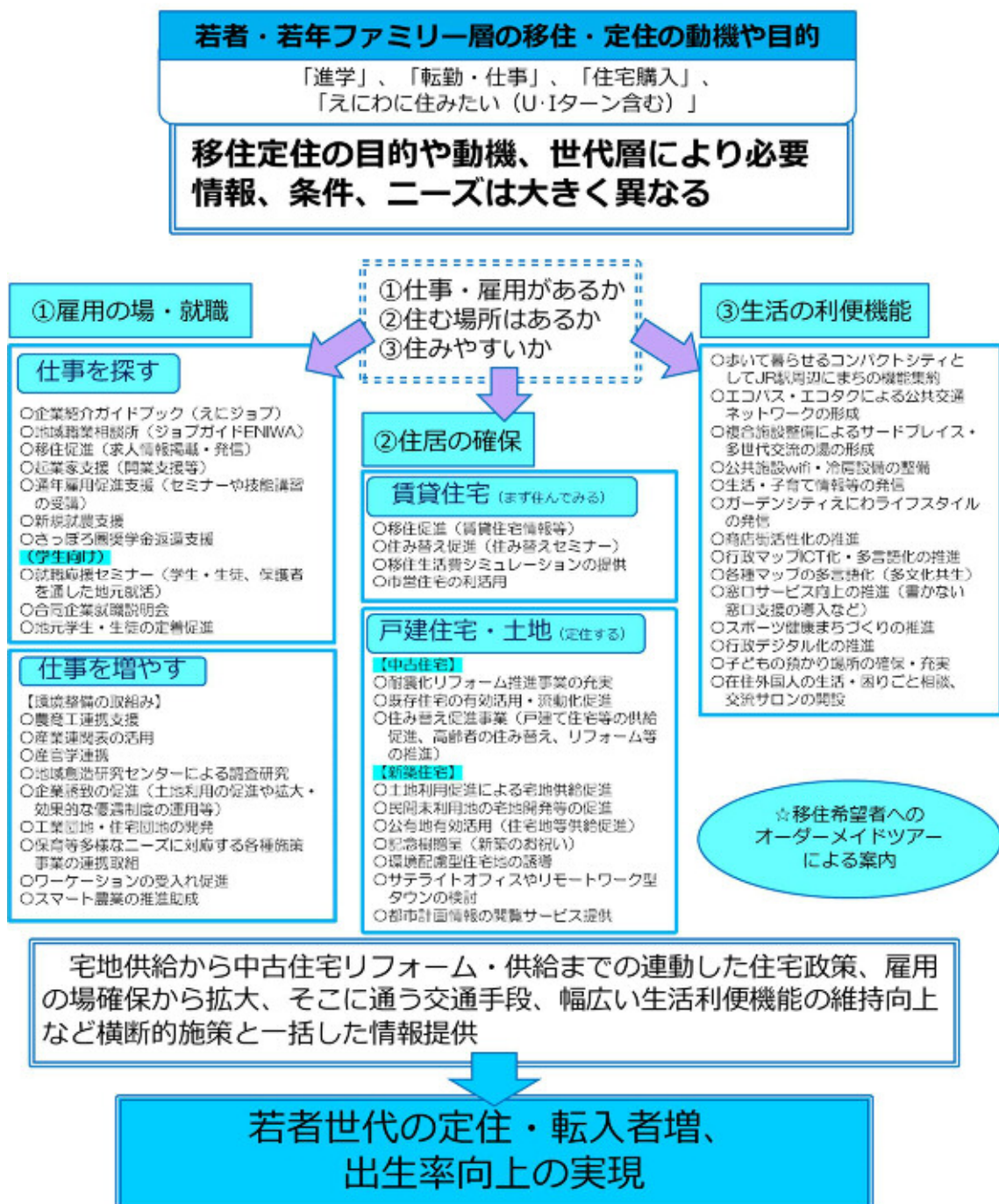
目的、基本目標、数値目標、横断的施策、評価指標（K P I）、推進管理（P D C A）

4. 施策の横断的展開

(1) 若者世代を中心とした移住・定住ニーズに対応する横断的施策

今後も雇用の場を確保するとともに、空き家や空き地などの遊休地を活用した宅地供給を図るとともに、高齢者の住み替えによる既存住宅の活用や流動化事業を進め、さらには若年層のニーズにある賃貸住宅供給も促進するなど、宅地や既存住宅の循環、連携を推進することにより、若者の地元定着及び人口の社会増を目指します。

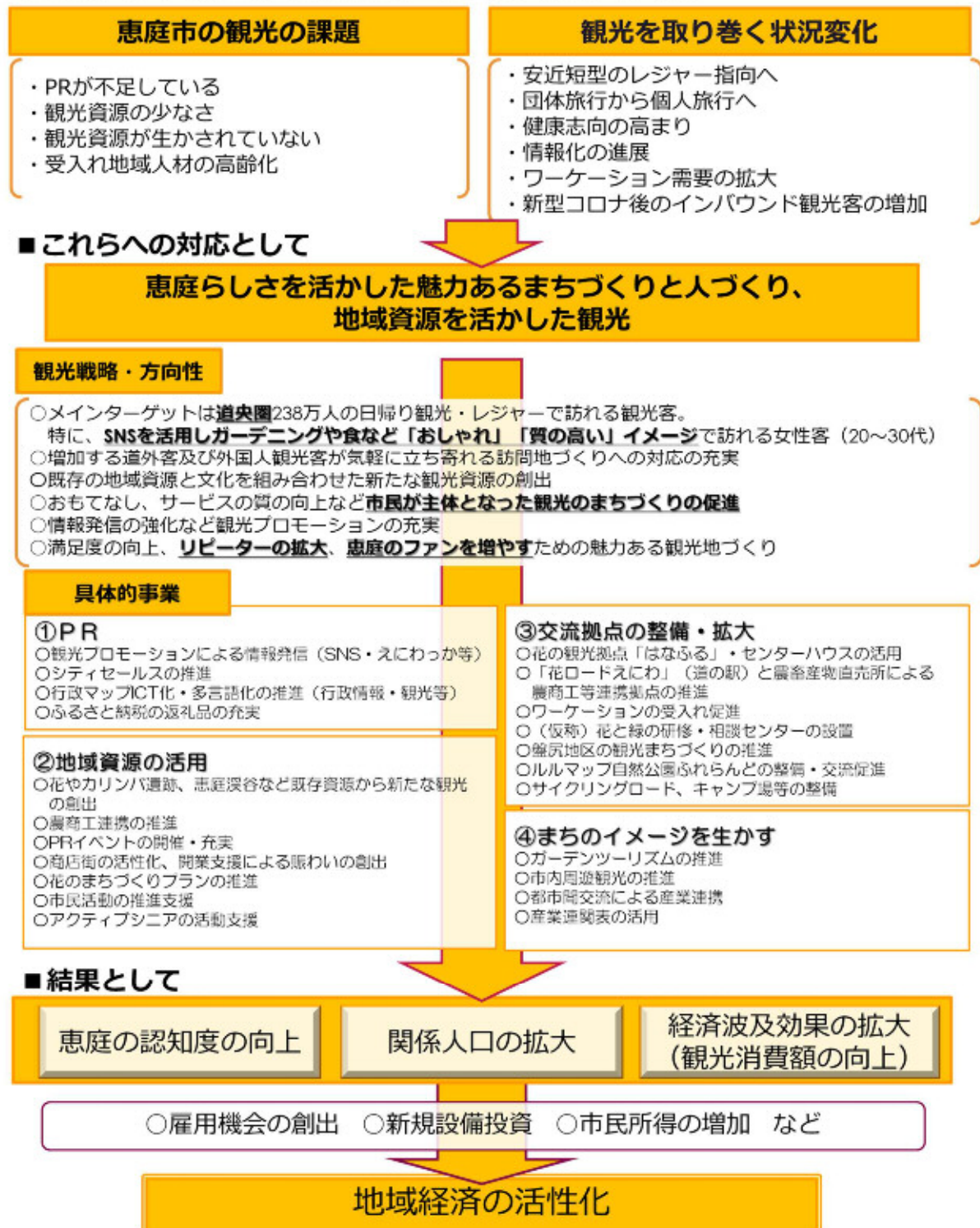
若者世代を中心とした移住・定住ニーズに対応する横断的施策



(2) 交流人口増による幅広い地域産業活性化

道央圏 238 万人の日帰り観光をメインターゲットとし、本市の特色や地域性である「花のまち」のイメージや農産物、自然景観など、良好な地域資源を活用することで、交流人口を伸ばし、さらには経済波及効果を拡大させ、幅広い地域産業の活性化に結び付けていくことを目指します。

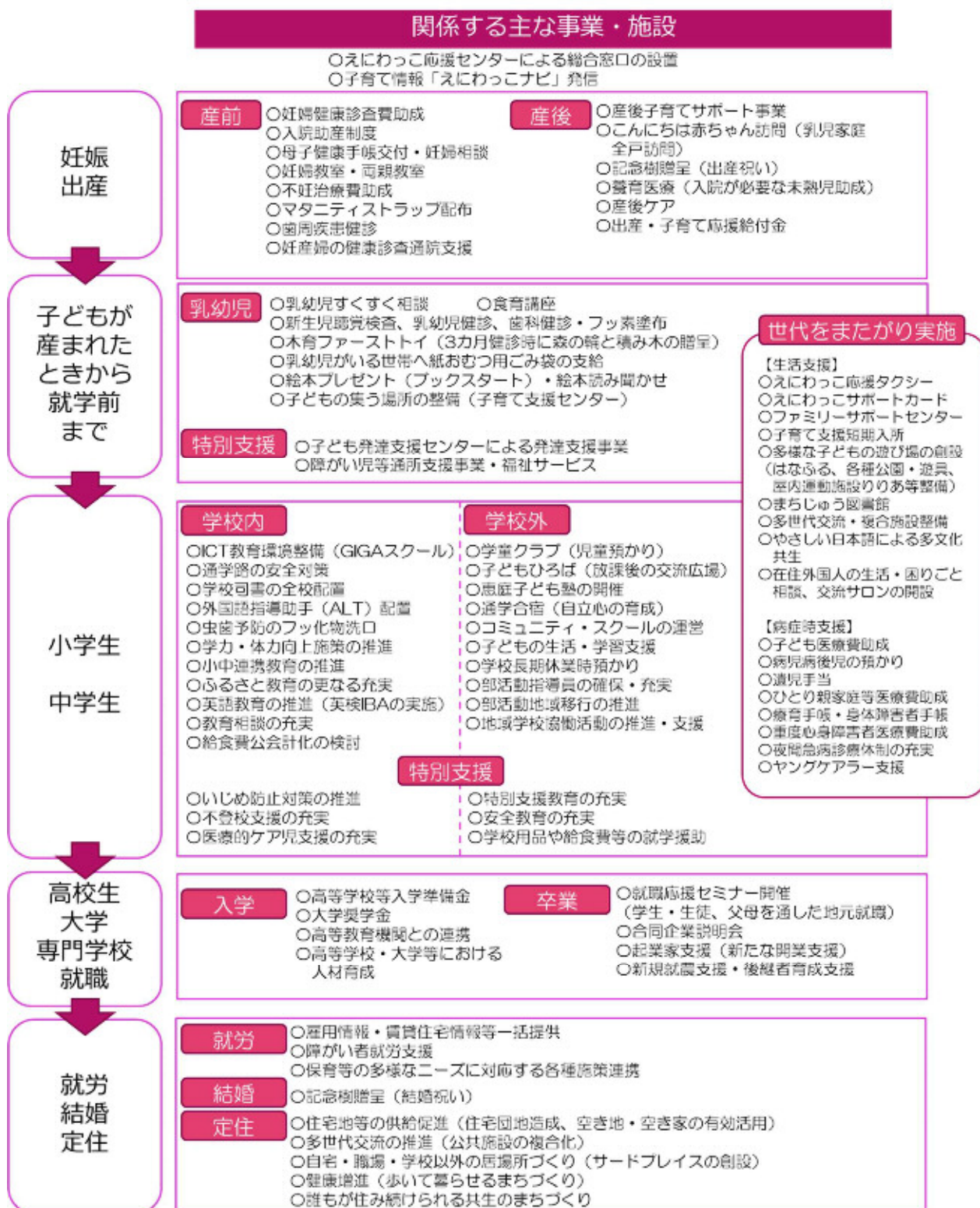
交流人口増による幅広い地域産業活性化



(3) 妊娠・出産・就労・結婚・定住への切れ目のない支援の充実

年代別に施策の対象者は異なり、必要とする支援も異なることから、妊娠・出産・子育て・就労・結婚・定住への切れ目のない支援を体系づけて実施することにより、効果的な施策展開を図っていきます。

妊娠・出産・就労・結婚・定住への切れ目のない支援の充実



(4) 新ガーデンデザインプロジェクトの推進

JR 駅を中心としたコンパクトで質の高い住環境、市街地に近接する工業団地を中心とする利便性の高い職場環境、ガーデンツーリズム等の観光機能の更なる強化に取り組むとともに、防災、景観、環境、健康機能を付加し、居心地の良い生活空間づくりを進め、QOL が高いまち＝「住みやすいまち、暮らしやすいまち」の戦略的な PR を推進します。

新ガーデンデザインプロジェクトの推進

